様　式　Ｆ－７－２

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

1．機関番号　３２６０４

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　若手研究(B)

4．補助事業期間　平成２６年度～平成２８年度

5．課題番号　２６７８０２８９

6．研究課題名　少年犯罪の社会問題化とその収束に関する社会学的研究

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
００５０８２４４	マキノ　トモカズ 牧野　智和	人間関係学部	講師

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9．研究実績の概要

最終年度（三年目）は、少年犯罪に関するテレビ報道の分析に従事した。特に報道の構成内容、ショットや演出・テロップ等についての質的分析が中心である。分析結果は今年度においては未公表であったが、三年間の研究成果を合わせるかたちで、研究代表者が編者として関わる教育社会学テキストの内容として収録される予定である（現在印刷中）。

研究目的のなかに複数のメディアを対象とした「クロスメディア分析」を挙げていたが、今年度までの研究によって新聞（全国紙・地方紙）、雑誌、テレビといったそれぞれのメディアについて分析を積み重ねることができた。1997年の神戸・連続児童殺傷事件を事例にすると、全国紙・地方紙・雑誌における「ニュース・フレーム」はかなりの程度相関していることがわかった。具体的には、同年6月末から7月中旬までの「学校問題」というフレームから「心の闇」というフレームへの移行がほぼ軌を一にしていた。テレビについても、近年の事件を事例にすると、かなりの程度相関している。ただし、各メディアにおいて許容される表現の範囲があり、新聞の場合は穏当な範囲に収まり、雑誌とテレビの場合は穏当なものからより煽情的なものまで幅が広くとられていた。雑誌の場合はこれに学術的な評論というパターンが加わる。

どのメディアがフレーム形成を先行させたかという点については解釈が難しいが、テレビと新聞が雑誌に優越していると考えられる。また、新聞という同一メディア内においても、全国からのニュースが紙面を奪い合う全国紙に対し、地元の事件に多く紙面を割く地方紙では、地元で起きた事件についてよりさまざまな観点からの報道を行うことができる傾向が観察された。

10．キーワード

(1) 少年犯罪　(2) ニュース・フレーム　(3) メディア分析　(4) 言説

(5)　(6)　(7)　(8)

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

11.研究発表

〔雑誌論文〕　計（０）件／うち査読付論文　計（０）件　（最終年度分）
／うち国際共著論文　計（０）件　（最終年度分）　／うちオープンアクセス　計（０）件　（最終年度分）

著　者　名	論　文　標　題

雑　誌　名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）

オープンアクセス

〔学会発表〕　計（０）件／うち招待講演　計（０）件　（最終年度分）　／うち国際学会　計（０）件　（最終年度分）

発　表　者　名	発　表　標　題

学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所

〔図書〕　計（１）件　（最終年度分）

著　者　名	出　版　社
牧野智和	大月書店

書　名　【発行確定】	発行年	総ページ数
半径5メートルから考える教育と社会（仮）	2017	編集中につき不明

（課題番号：　26780289　）
（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

12.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕　計（０）件　（最終年度分）

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕　計（０）件　（最終年度分）

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

13.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計（０）件　（最終年度分）

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

14.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（１）国際共同研究：－

15.備考

（課題番号： 26780289 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。